

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 不破高等学校 学校運営協議会 (第3回)
- 2 開催日時 令和8年2月10日(火) 14:00~15:30
- 3 開催場所 不破高等学校ガイダンス室
- 4 参加者
- | | | |
|-----|-------|-----------------|
| 会長 | 竹内 治彦 | 岐阜協立大学教授 |
| 副会長 | 和田 満 | 垂井町教育委員会教育長 |
| 委員 | 渡邊 勝敏 | 関ヶ原町教育委員会教育長 |
| | 長井 円覚 | 不破中学校校長(欠席) |
| | 岡野 道代 | 地域住民(宮代こども園園長) |
| | 広瀬 隆博 | 垂井町議会議長(欠席) |
| | 太田 佳祐 | 地域住民(垂井まちラボ) |
| | 浅野 宏 | NPO法人泉京・垂井 代表理事 |
| | 乾 豊 | 本校同窓会会長 |
| | 山川 直美 | 本校PTA副会長(欠席) |
| 学校側 | 浦野 善裕 | 校長 |
| | 武藤 純二 | 教頭 |
| | 北村 直也 | 事務長 |
| | 伊藤 健一 | 教務部長 |
| | 早野 賢謙 | 進路支援部長 |
| | 立木 翔 | 生徒支援部長 |

5 会議の概要(協議事項)

(1) 令和7年度「学校評価アンケート」の結果と考察

意見1:すべての項目において生徒の満足度が向上している。これは、日々の教育活動の大きな成果である。(複数)

意見2:「本校に入学してお子様は人間的に成長したと思う」という設問に対して、85%の保護者が肯定的に回答しており、教育活動に対する満足度の高さがうかがえる。

意見3:「スクールポリシーを知っている」という設問に対して、“わからない”と回答している生徒が昨年度より減少している。これは、学校に対して関心をもつようになった証拠であり、外部との連携を生かした教育活動を積極的に取組んだ成果である。

意見4:「先生は、悩みや相談ごとに親身になって対応してくれる」という設問に対して、76%の生徒が肯定的に回答しており、教職員が一人一人の生徒をよく観察し丁寧な支援等を行っている証であり、とてもすばらしい。

(2) 令和7年度「教育指導の重点及び学校経営計画」成果と課題

- 意見1：各領域分野の評価項目の達成状況等においてAからDの評価が付けられているが、明確な評価規準を設定するとよい。(複数)
- 意見2：学校としてSNSを活用した広報活動を推進していくことは理解できる。情報モラルを啓発する意味で、生徒の見本となるような広報活動をお願いしたい。
- 意見3：校内でのスマートフォンの使用規定はどうなっているのか。
⇒校内では、昼休みのみの使用を認めている。
- 意見4：「不破ウィーク」のような本校独自の取組みを今後も期待している。(複数)

(3) 意見交流

- 意見1：「不破ウィーク」はとてもよい取組みである。今後は、生徒の自由度を担保しながら新入生への周知方法や生徒主体の企画立案の在り方などを研究し強化できるとよい。
- 意見2：今年度の進路状況はどのようになっているか。
⇒約40%が進学、約60%が就職という状況である。
- 意見3：地域を活性化させるには、若者の定着が重要である。地元企業を知り、将来、地元で就職し活躍できるような仕組みづくりが重要である。
- 意見4：こども園との交流は、生徒の心の教育にとっても役立つと考えている。今後も積極的に活用するとよい。
- 意見5：地域での積極的な活動は、多くの人が本校生徒の様子を知ることができる情報発信の場でもあり、生徒が成長するよい機会となっている。(複数)
- 意見6：本校ホームページを見ているが、部活動の様子がわからない。日々の練習風景や大会結果などを積極的に発信するとよい。

6 会議のまとめ

第3回学校運営協議会では、本校の一年間の成果と課題について取組内容を報告し、さまざまな視点からの意見等を得ることができた。改善が必要なところは速やかに対応し、今後の教育活動に活かしていきたい。